

工 事 番 号		部 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	検 算 者	設 計 者
設 計 年 度	令和 3 年度		円一第 1 処理分区污水管新設工事 (3- 2 工区) 仕様書 公共下水道事業 三原市円一町一丁目 仕 様 書				
施 工 月 日	令和 年 月 日						
施 工 方 法	請 負						
工 事 期 間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
・ 路線延長 (污水補助) L=161. 0m 管体延長 (開削) φ 200 L=158. 7m							

特 記 仕 様 書

第 1 章 総則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、三原市円一町一丁目 公共下水道事業 円一第 1 処理分区污水管新設工事(3-2 工区)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和 2 年 8 月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2014 年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成 26 年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第 2 節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第 3 節 部分引渡し

建設工事契約約款第 38 条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第 4 節 検査

土木工事共通仕様書(令和 2 年 8 月広島版)『第 3 編 1-1-10 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第 5 節 情報共有システム(設計金額 500 万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品 1 部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第 6 節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第 5 4 条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第 2 章 施工条件

第 1 節 工 程

1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管、ガス管、雨水管などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

第 2 節 用 地

- 1 借 地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第 3 節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1 ヶ月以内）

調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範 囲	別途協議による。

第 4 節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は，開削工事 3（人／日），推進工事 4（人／日）を見込んでいる。

第 5 節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8 時 3 0 分～1 7 時

工事中・後の処置 随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第 6 節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において 300m² 以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは 30 日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第 7 節 仮設工

湧水等により，見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は，任意仮設についても設計変更することができる。

ただし，変更しようとする者は，見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに，適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し，監督員と協議すること。

第8節 工事支障物件

1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管，ガス管
管理者	三原市水道部，広島ガス㈱
位 置	協議による
移設時期	協議による

第9節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については，下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

第10節 推進工法

受注者は，本工事における推進工法の選定が適切かどうかを照査すること。照査の結果，不適切と判断される場合は，双方協議のうえ，変更することを可能とする。

第11節 薬液注入

1 薬液注入

「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」に基づき施工すること。

「薬液注入工事に係る施工管理等について」に基づき管理すること。

2 周辺環境調査

施工前・中1回・後の3回地下水の水質を調査すること。

第12節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和2年8月広島版）『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。
また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

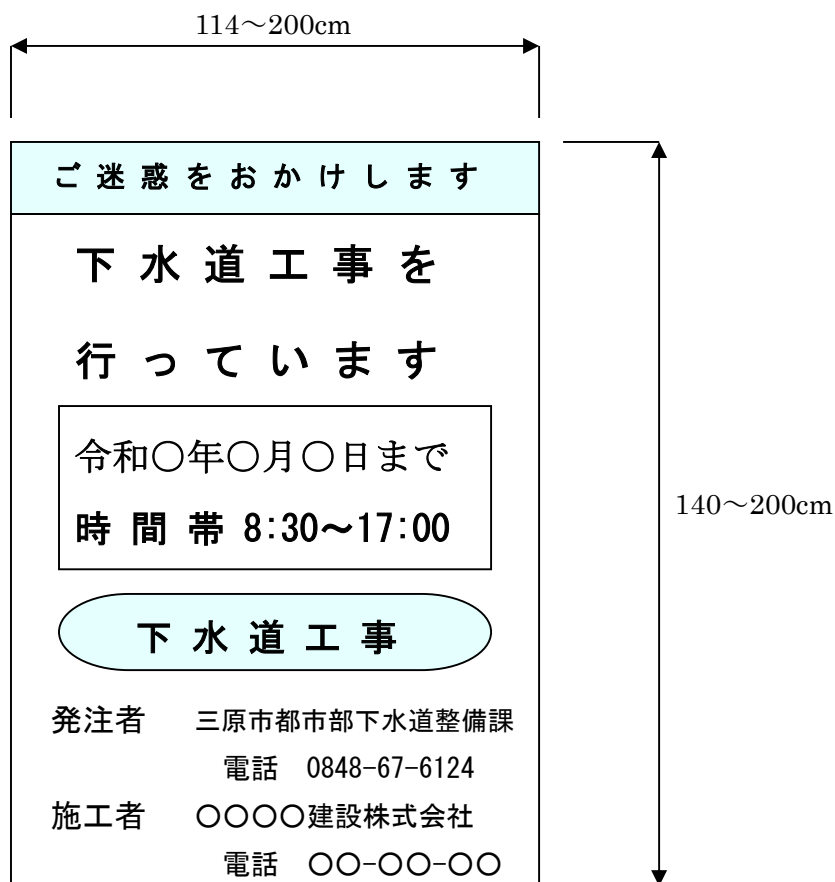
なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|-------------|---|
| （1）原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| （2）補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| （3）応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| （4）補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

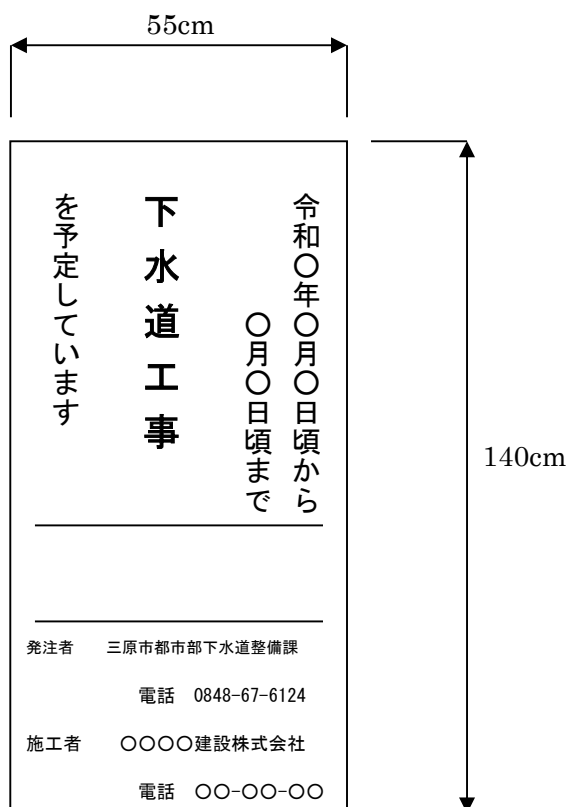
第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。
また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

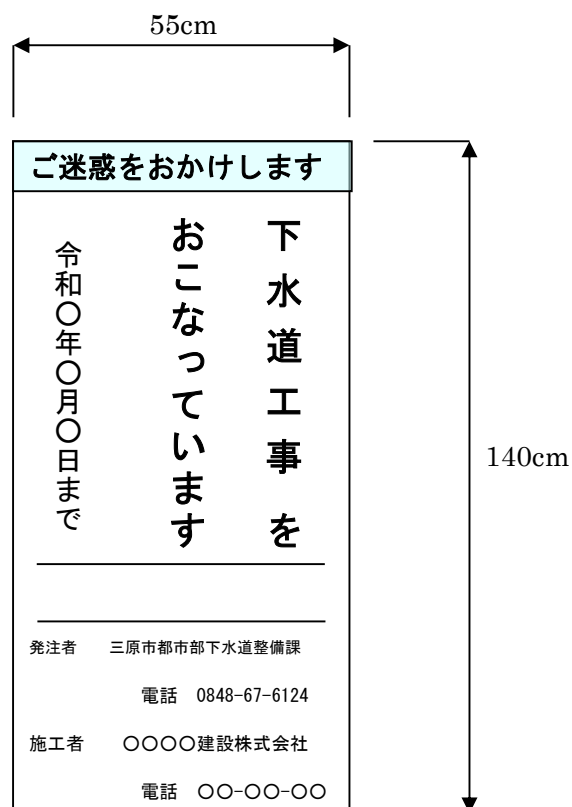
【工事標示板】



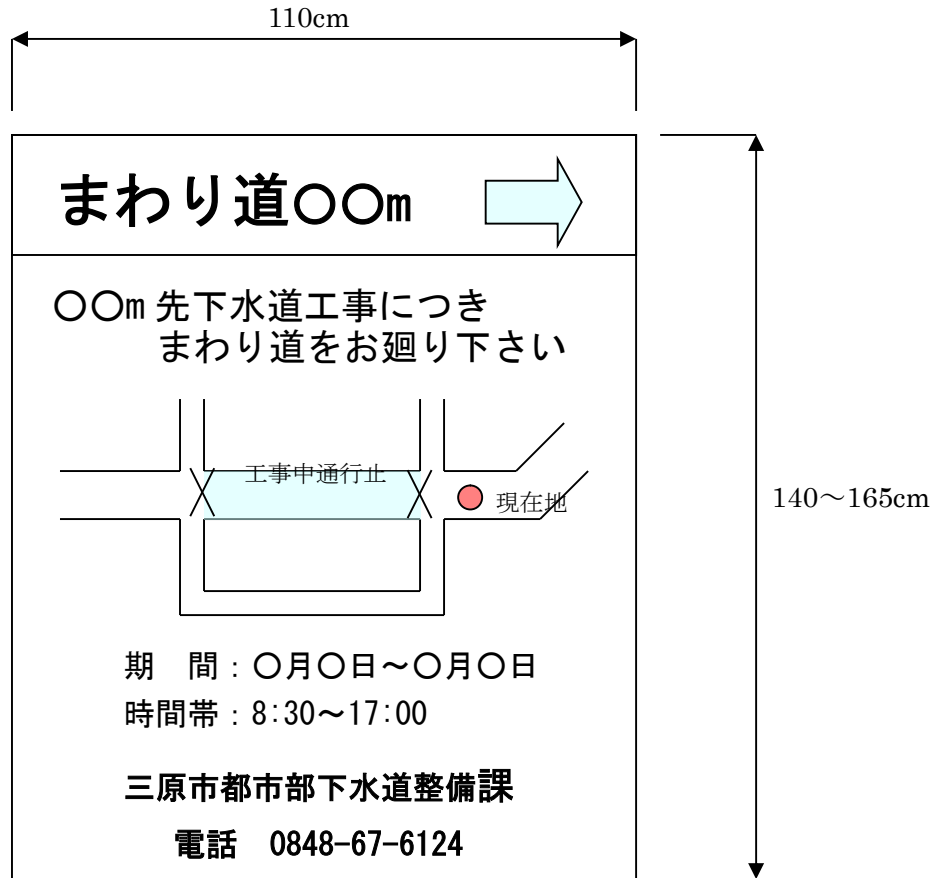
【工事情報看板】



【工事説明看板】



【まわり道案内表示板】



工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
管路施設(開削工法)		式		1	レベル1
管きょ工(開削)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻	発生土	式		1	レベル4
管路埋戻	再生砂	式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
管布設工		式		1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【φ200】	m		158.7	レベル4
継手類		式		1	レベル4
埋設標識テープ		m		158.7	レベル4
管基礎工		式		1	レベル3
砂基礎	【再生砂】	m		158.7	レベル4
マンホール工		式		1	レベル2
組立マンホール工		式		1	レベル3
組立1号マンホール		箇所		2	レベル4
小型マンホール工		式		1	レベル3

工事数量総括表

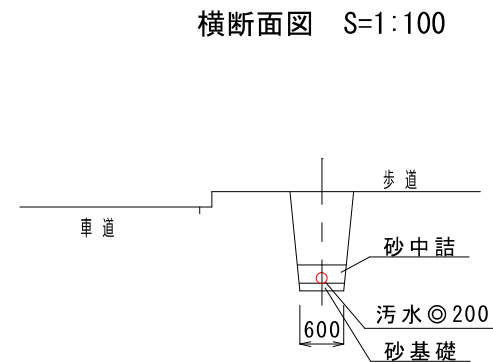
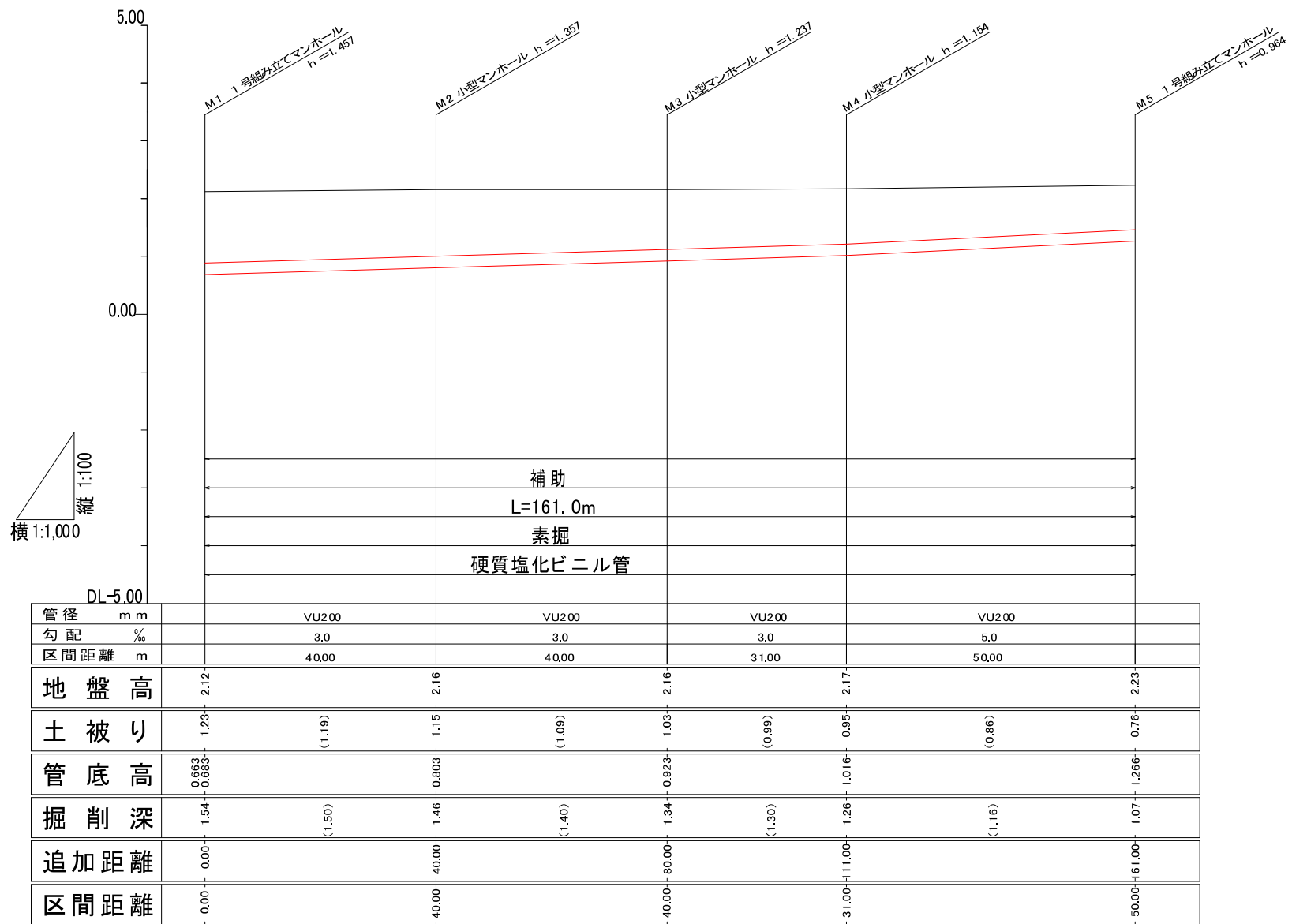
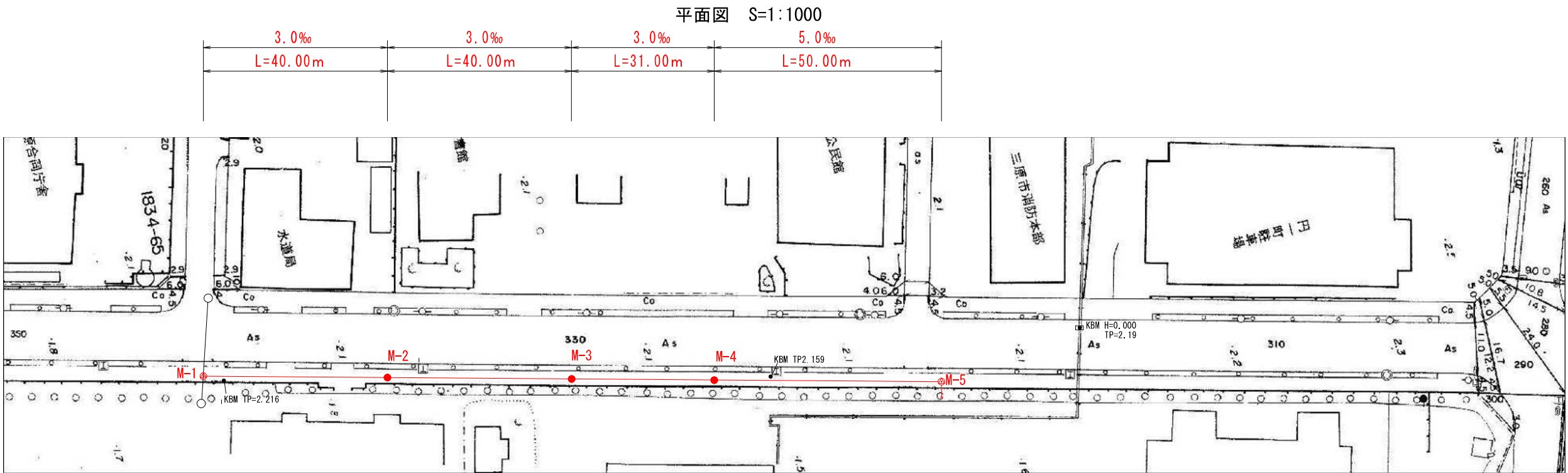
頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
小型マンホール(塩化ビニル製)		箇所		3	レベル4
付帯工	本管	式		1	レベル2
舗装仮復旧工		式		1	レベル3
路盤		m2		129	レベル4
表層		m2		129	レベル4
舗装撤去工		式		1	レベル3
舗装版破碎(小規模)		m2		129	レベル4
殻運搬処理		m3		4	レベル4
ブロック舗装(インターロッキング)		m2		129	レベル4
インターロッキングブロック撤去		m2		129	レベル4
全工種共通仮設		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		式		1	レベル4
直接工事費					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]



凡 例	
記 号	名 称
⊙	1号直立マンホール
●	塩ビ製小型マンホール

令和3年度 公共下水道事業（汚水・雨水）			
工事名	円一第一処理分区汚水管新設工事（3-2工区）		
工事場所	三原市円一町三丁目		
図面番号		縮 尺	図 示
	平面図・縦断図・横断図		
三 原 市			

— 参 考 資 料 —

円一第1处理分区污水管新設工事(3-2工区)

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-03. 05. 01 (0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事 (2) 02 市街地 (DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証 (0. 04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)	1	式			Y1I01 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y1I0101 レベル2
管路土工	1	式			Y1I010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	150	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001 表
管路埋戻 発生土	1	式			Y1I01010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	93	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003 表
管路埋戻 再生砂	1	式			Y1I01010102 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	27	m3			単第0 -0005 表
発生土処理					Y1I01010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)					SG1E0003002 00
	49	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
建設発生土受入費 再資源化施設					F0001 00
	49	m3			
管布設工					Y1I010102 レベル3
	1	式			
硬質塩化ビニル管 【φ200】					Y1I01010203レベル4
	158.7	m			
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm					SG1D0006001 00
	158.7	m			単第0 -0008 表
継手類					Y1I01010212レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール用可とう継手 V U φ 200	4	組			F0002 00
埋設標識テープ	158.7	m			Y1I01010216 レベル4
埋設標識シート 150×50 2倍	158.7	m			F0004 00
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎 【再生砂】	158.7	m			Y1I01010301 レベル4
砂基礎工(機械施工)	10	m3			SG1D0019002 00
再生砂	12	m3			単第0 -0009 表 T0249 00
マンホール工	1	式			Y1I0102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y1I010202 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立1号マンホール					Y1I01020202レベル4
	2	箇所			
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下					SG1D0053002 00
	2	箇所			単第0 -0010 表
底部工(組立式)(組立1号マンホール)					SG1D0053001 00
	2	箇所			単第0 -0011 表
汚水用人孔鉄蓋 (デザイン入・密閉ロック式) φ600 T-14					F0007 00
	2	組			
変形防止調整金具					F0008 00
	2	箇所			
無収縮モルタル 25kg袋					TH003190 00
	1	袋			
マンホール付属品 調整リング 600×100					TH003100 00
	1	個			
マンホール付属品 調整リング 600×150					TH003102 00
	1	個			
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300					TH003064 00
	1	個			

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450	1	個			TH003066 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×600	1	個			TH003086 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×900	1	個			TH003088 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	2	個			TH003096 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用, 径200用	2	箇所			TH003130 00
小型マンホール工	1	式			Y1I010203 レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)	3	箇所			Y1I01020301 レベル4
小型マンホール工(塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm～200mm	3	箇所			SG1D0057001 00
小口径鉄蓋(デザイン入・密閉ロック式) φ300用 T-14	3	組			単第0 -0015 表 F0013 00

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
沈下防止盤（再生プラスチック） φ300用 T-14	3	組			F0014 00
沈下防止盤（コンクリート） φ300用 T-14	3	組			F0015 00
付帯工 本管	1	式			Y1I0106 レベル2
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
路盤	129	m2			Y1I01060405 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚13cm	129	m2			SQZ10 00
表層	129	m2			単第0 -0016 表 Y1I01060409 レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	129	m2			SPK20040244 00
舗装撤去工	1	式			単第0 -0018 表 Y1I010601 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎(小規模)	129	m2			Y1I01060103 レベル4 A=0, G=1
舗装版破碎積込(小規模土工)	129	m2			SPK20040018 00 単第0 -0019 表
殻運搬処理	4	m3			Y1I01060105 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超))	4	m3			SPK20040146 00 単第0 -0020 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入費	9	t			F0017 00
ブロック舗装(インターロッキング)	129	m2			Y1I01060410 レベル4
インターロッキングブロック工(設置) 直線配置 ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2以上	129	m2			SS000115 00 単第0 -0021 表
インターロッキングブロック撤去	129	m2			Y1A01141201 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
インターロッキングブロック工(撤去再使用) 再使用目的の撤去 [規]100m2以上	129	m2			SS000117 00 単第0 -0022 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	28	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
管内調査費					YZZ06001001 レベル4
	1	式			
テレビカメラ管内調査費 洗浄・メイア録画・報告書作成含む					V8001 00
	158.7	m			単第0 -0023 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
計算情報…… 対象額……… 率………					
** 工事原価 **					

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

頁0 -0012

機械掘削工(バックホウ)

SG1D0001002

單第0 -0001 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

機-01_バックホウ運転

SM0102020

單第0 -0002 表

113_標準型 排2

山積0.28m³(平積0.2m³)

—

時間 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

頁0 -0014

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

タンパ締固め

SPK20040020

単第0 -0004 表

頁0 -0015

機械構成比: 1.39% 労務構成比: 97.22% 材料構成比: 1.39% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,398.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.39%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.95%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.39%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0005 表

頁0 -0016

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		

施工単価表

頁0 -0017

発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)

SG1E0003002

單第0 -0006 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

ダンプトラック運転

SM2203010

単第0 -0007 表

011_オンロード ディーゼル

4t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	34.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=34 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

頁0 -0019

硬質塩化ビニル管布設工

SG1D0006001

單第0 -0008 表

呼び径 200mm

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

砂基礎工(機械施工)

SG1D0019002

單第0 -0009 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

組立1号マンホール

SG1D0053002

单第0 -0010 表

1号(内径900mm) 深さ3m以下

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

底部工(組立式) (組立1号マンホール)

SG1D0053001

單第0 -0011 表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

コンクリート

SPK20040148

単第0 -0012 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.61%

労務構成比:

37.84%

材料構成比:

57.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

27,792.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.35%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.93%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.50%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0024

コンクリート

SPK20040148

單第0 -0012 表

1

m3 当り

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

機械構成比:	4.61%	勞務構成比:	37.84%	材料構成比:	57.55%	市場單価構成比:	0.00%
--------	-------	--------	--------	--------	--------	----------	-------

標準単価： 27,792.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

モルタル上塗り(配合1:2) (マンホール用)

SG1E0044003

單第0 -0013 表

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

モルタル練
普通
機械構成比：0.00%

SPK20040149
混合比1:2
労務構成比：61.62%

材料構成比：38.38%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0014 表
1
標準単価：44,520.00000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	61.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	28.46%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	9.92%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通 C=1 -(全ての費用)			B=2 混合比1:2		

施工単価表

頁0 -0027

小型マンホール工（塩化ビニル製）

SG1D0057001

單第0 -0015 表

1

箇所 当り

マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm～200mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

タンパ運転 (賃料)

S9000017

單第0 -0017 表

1

目 当 り

質量 60～80 kg

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

表層(歩道部)

SPK20040244

単第0 -0018 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.54%

労務構成比:

49.70%

材料構成比:

49.76%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,970.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.37%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.09%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.65%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	17.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.99%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	43.78%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.85%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0031

表層(歩道部)

SPK20040244

単第0 -0018 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.54%

労務構成比:

49.70%

材料構成比:

49.76%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,970.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.07%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0032

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK20040018

单第0 -0019 表

1

m2 当り

機械構成比： 23.75% 勞務構成比： 68.21% 材料構成比： 8.04% 市場單價構成比： 0.00%

標準単価： 1,518.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	23.75%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	68.21%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	8.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0033

殻運搬 SPK20040146 単第0 -0020 表
 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 47.71% 労務構成比: 37.09% 材料構成比: 15.20% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,623.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	15.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=22 運搬距離6.0km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0034

インターロッキングブロック工(設置)
直線配置

SS000115
ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2以上

単第0 -0021 表

1
m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
設置【材工共】 直線配置 厚6cm	1.000	m2			
標準ブロック 厚60mm	-1.020	m2			
再利用	1.020	m3			
再生砂	0.013	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 直線配置 C=2 特殊品 E=2 再生砂			B=1 ブロック厚6cm D=1 特殊品材料単価【登録単価CODE】(m2) H=0.01 敷材料の厚さ(m) J=1 -		
I=1 [規]100m2以上 K=1 -					

施工単価表

頁0 -0035

インターロッキングブロック工(撤去再使用) SS000117

單第0 -0022 表

再使用目的の撤去 [規]100m2以上

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

テレビカメラ管内調査費
洗浄・データ録画・報告書作成含む

V8001

單第0 -0023 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

管きよ内洗浄工

V8002

单第0 -0024 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

高压洗净车运转工

V80021

单第0 -0025 表

4 t

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

給水車運転工

V80022

單第0 -0026 表

4 t

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

本管TV調査工

V8003

單第0 -0027 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

TVカメラ搭載車運転工

V80031

單第0 -0028 表

95.5KW (130PS) 2 t

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

報告書作成

V8004

単第0 -0029 表

頁0 -0042

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
管理技師	1	人			
管路調査技師	1	人			
管路調査助手	1	人			
記録メディア	1	枚			
写真代 デジタルカメラデータカラープリント サービス版	1	式			
諸雑費	10	%			#01
1mあたり					
*** 単位当たり ***	1	m			

() 工区 補助

[illegible]

[illegible]

() 工区

() 工区

() 工区

三 原 市

() 工区 補助

() 工区 補助

() 工区

三 原 市

() 工区 補助

付帶工

塩ビ管管布設付帯工 No.1

() 工区

現況表層厚＝ 0.06 m
現況路盤厚＝ 0.10 m

道路幅員＝ 2.50 m
掘削幅＝ 0.80 m

復旧表層厚＝ 0.06 m
復旧路盤厚＝ 0.12 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		インターロッキング工	
			t= 5 cm	m	t= 10 cm A=掘削幅×延長	m2	A=復旧幅×延長	m2
	M1	40.00			0.8 × 40.00	32.0	(0.80+0.00+0.00)×40.00	32.0
	M2							
	M3	40.00			0.8 × 40.00	32.0	(0.80+0.00+0.00)×40.00	32.0
	M4							
	M5	31.00			0.80 × 31.00	24.8	(0.80+0.00+0.00)×31.00	24.8
	M6							
		50.00			0.80 × 50.00	40.0	(0.80+0.00+0.00)×50.00	40.0
	計	161.00				128.8		128.8

(インターロッキングブロック)

撤去・据付け = 0.80×161m = 128.8 m2



令和3年度 公共下水道事業		
工事名	円一第1処理分区污水管 新設工事 (3-2)	
工事場所	三原市円一町一丁目	
図面番号	縮尺	
位置図		
三原市		